

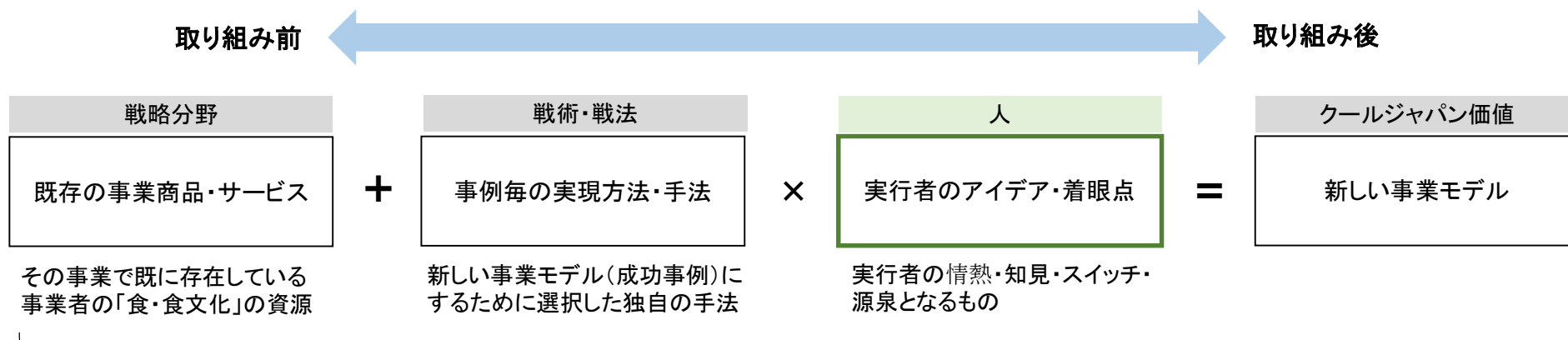
## (2) CJPF事業における調査、実装、運営・評価に関する業務

### ②CJPFにおけるCJプロジェクト(事業モデルケース)の運営と評価項目の実装

#### ー5、CJPFにおける複数の「成功パターン」の発見、定義、会員企業及び関係省庁への展開

- ◆ 令和3年度は、12の事業モデルケースから、成功事例のパターンを考察しました。事業モデルを、取り組み前→取り組み後で傾向を分析したところ、【戦術・戦法】に加え、実行者の【アイデア・着眼点】の掛け合わせが**成功事業モデル**となる、事業者唯一の強み・成功に繋がっていることが見えました。
- ◆ 成功パターンの事例考察を、クールジャパン価値CJV＝戦略分野(X)＋戦術・戦法(Y)×人のアイデア・着眼点(Idea/Innovation)の法則で示しました。

#### パターンの考察



#### 成功パターンの定義

$$\text{クールジャパン価値 Cool Japan Value} = \underbrace{\text{戦略分野}}_{=CJV} + \underbrace{\text{戦術・戦法}}_{=X} \times \underbrace{\text{実行者(人)のアイデア・着眼点}}_{=Idea/Innovation}$$

## (2) CJPF事業における調査、実装、運営・評価に関する業務

### ②CJPFにおけるCJプロジェクト(事業モデルケース)の運営と評価項目の実装

#### － 5、CJPFにおける複数の「成功パターン」の発見、定義、会員企業及び関係省庁への展開

美山荘

1000年以上の里山の原景色、そこから採れる山菜料理の魅力。平安時代にタイムスリップした感覚で、五感全てで豊かな自然そのものを味わえる花背ブランドの魅力を取材、動画を制作した。



## (2) CJPF事業における調査、実装、運営・評価に関する業務

### ②CJPFにおけるCJプロジェクト(事業モデルケース)の運営と評価項目の実装

#### － 5、CJPFにおける複数の「成功パターン」の発見、定義、会員企業及び関係省庁への展開

気仙沼

海と生きる気仙沼の未来ビジョンをテーマに気仙沼の復興に携わった方々への取材を通じた動画を制作した。



## (2) CJPF事業における調査、実装、運営・評価に関する業務

### ②CJPFにおけるCJプロジェクト(事業モデルケース)の運営と評価項目の実装

#### － 5、CJPFにおける複数の「成功パターン」の発見、定義、会員企業及び関係省庁への展開

隠岐諸島

ジオの恵みとスローライフの価値をテーマに、土地の特徴を起点に事業を展開している方々へ、モデル事例となる動画、記事制作の取材を行った。



## (2) CJPF事業における調査、実装、運営・評価に関する業務

### ②CJPFにおけるCJプロジェクト(事業モデルケース)の運営と評価項目の実装

#### － 5、CJPFにおける複数の「成功パターン」の発見、定義、会員企業及び関係省庁への展開

##### ◆ 共創プラットフォーム・調査ウェブサイトの制作報告 —モデル事例一覧

**虎屋**



虎屋の取材は2021年度に実施

**美山荘**



**伊根町**



**今田酒造**



**瀬戸内醸造所**



# (2) CJPF事業における調査、実装、運営・評価に関する業務

## ②CJPFにおけるCJプロジェクト(事業モデルケース)の運営と評価項目の実装

### － 5、CJPFにおける複数の「成功パターン」の発見、定義、会員企業及び関係省庁への展開

#### ◆ 共創プラットフォーム・調査ウェブサイトの制作報告 —モデル事例一覽

### 気仙沼



### まいもん寿司



### 薩摩焼酎



### 球磨焼酎



### 隠岐諸島



## (2) CJPF事業における調査、実装、運営・評価に関する業務

### ②CJPFにおけるCJプロジェクト(事業モデルケース)の運営と評価項目の実装 -5、CJPFにおける複数の「成功パターン」の発見、定義、会員企業及び関係省庁への展開

◆ 共創プラットフォーム・調査ウェブサイトの制作報告 -CJPFサイトのコラム、CJPF LIVEページの英訳

コラム

CJPF LIVE

Column

Search by keyword

Search by tag

News (0/0)

**01** The Future of the UNWTO's Gastronomy Tourism Initiatives

Hiroko Suzuki

**02** Qualitative Global Changes and Expectations for Japan

Naoki Tamaki

**03** Japan's Coexistence with Nature and Expectations for the Future of Food Culture in Society

Satoru Otowa

Column 01

### The Future of the UNWTO's Gastronomy Tourism Initiatives

World Tourism Organization  
Deputy Chief, Regional Support Office for Asia and the Pacific  
Hiroko Suzuki

According to a survey by the World Tourism Organization (UNWTO), in recent years, the number of tourists who prioritize experiencing the regional lifestyles and cultures of their destination by enjoying the local cuisine is increasing at around the same rate as those who visit tourist hotspots. These tourists have a strong desire for authenticity and tend to consume more than the average tourists.

Gastronomy tourism is defined as "A form of tourism that aims to experience the local culinary culture and to enjoy food nurtured by the ingredients, culture, customs, traditions and history created by the local climate."

CJPF LIVE

### CJPF LIVE #01

**01** Exploring the Hidden Potential of Japanese Food and Food Culture and the Possibilities in Co-creation from an International Perspective

Japan's diverse food and food culture has great potential as a key resource for Cool Japan. CJPF Live is one of the initiatives that explores the potential of Japanese food and food culture from diverse perspectives to realize branding for people around the world and to communicate the charms of Japan to people with various interests and preferences. On the first CJPF Live held on September 1, 2022, we welcomed guests from diverse sectors such as chefs, travel planners, regional development specialists.

## (2) CJPF事業における調査、実装、運営・評価に関する業務

### ②CJPFにおけるCJプロジェクト(事業モデルケース)の運営と評価項目の実装

#### － 5、CJPFにおける複数の「成功パターン」の発見、定義、会員企業及び関係省庁への展開

◆ 共創プラットフォーム・調査ウェブサイトの制作報告 – 調査を軸としたインフォグラフィックページ(数字で見るページ)の令和4年度事業版の制作

#### インフォグラフィックページ(数字で見るページ)





## 第3章 全体総括

# (1)本事業の成果

## 本事業の成果

本事業での成果は以下の通りである。

### (1)CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

#### CJPF AWARD

- 様々なチャンネルで募集を促進したことにより、応募数と応募作品の質を担保することができた。
- 表彰式を収録型で実施することで、視聴者が見やすい、安定した品質(映像・音声)で情報を発信することができた。
- 万博推進協議会と協業したことで、CJPFの認知を拡大するとともに、2025年開催の万博の機運醸成に寄与することができた。

#### CJPF LIVE

- 地域で活躍する事業者を発掘し、次年度以降の共創につながる関係性の基盤を整えることができた。
- CJPF LIVEを通じて、日本全国の先進的な取組みをされている事業者の成功事例を発信することができた。
- 収録開催により、安定した品質(映像・音声)で発信することができた。
- 今年度は、第2回、第3回ライブを地方開催したことで、地域版CJPF LIVEの運営基盤を築くことができた。
- フリップやロールパネル等、備品の拡充により、CJPFのイメージを醸成することができた。

### (2)CJPF事業における調査、実装、運営・評価に関する業務

#### ①CJPF事業におけるKGI/KPI提案に向けた実証調査

- 日本を含む、アメリカ、イギリス、フランス、スペイン、韓国、台湾、タイ、シンガポール、インドネシアに対するソーシャルリスニングによって広く世界の食・食文化のトレンドや、世界における日本のプレゼンスを確認することができた。
- 今年度、アジア圏にも調査対象を広げたことによって、欧米圏、アジア圏の違いを明確にすることができた。
- 次年度のダッシュボード化に向けた検討を進めることができた。

#### ②CJPFにおけるCJプロジェクト(事業モデルケース)の運営と評価項目の実装

- モデル評価のための成功事例を有する事業者の選定、考察を行う事務局として伴走し、全9事業のプロジェクトの分析・成功事例の可視化を行った。
- 単一の事業者のみでなく、地域が一体となって取組むモデル事例を取り上げることで、他地域でも再現可能な地域共創事例を発信することができた。
- 次年度の共創型プロジェクトの実装に向けたコミュニティ形成の基盤となる、地域事業者との関係性を強化することができた。
- 共創プラットフォーム「cjpg.jp」のUI/UXデザインの強化、及びコンテンツの拡充を行った。

## (2) 今後取り組むべき課題と施策

### 次年度への提言 \_\_ 事業共創に向けた社会実装を進めるためのコミュニティ形成

- ◆ 「食・食文化」を中心とした持続可能な日本の魅力の発掘・発信の継続に加え、事業共創に向けたコミュニティ形成の実装に挑戦します。
- ◆ ①常に進化するCJを捉える ②“人”にフォーカスした繋がり構築 ③地域 3つの観点を大切に、CJPFの機能をより拡充することが大切と考えます。

令和3年度 運営体制構築・基礎情報収集

令和4年度 共創PF構築に向けた繋がり強化

令和5年度  
テーマ

事業共創の実現に向けた  
CJコミュニティの基盤化の実証

目指す姿

頼られるCJPFの実現

価値発掘

発信共有

コミュニティ化/コミュニティ共創

事業創造

# CJPF

#### 1、CJコミュニティ運営機能装着・基盤化

■ CJ分野での知見や高い興味を持つ地域/法人/個人が繋がれる体制をオンライン上に試験構築する

■ 事業者/地域自治体・他関係省庁共創  
...事業活性化を通じて事業共創のノウハウを展開できる基盤を実装

#### 2、ノウハウ蓄積・モデル事例の型化

■ 成功モデル・CJPF成功方程式のフレーム形成  
未来の事業者育成のためモデルの型化情報を共有・伝播

進化・新規

深化・継続改善

## CJPF

- ・モデル事例取材  
...地域・事業者への調査を継続実施
- ・調査  
...外国人がクールと思うものを的確に捉える。
- ・CJ認定ブランド発信

## CJPF LIVE

- ・LIVEの多様化・情報発信の強化
- ・様々なCJプロデューサーの登壇、他機関(地域/事業者含)との共催でより多様な情報提供を行う
- ・中規模、小規模型LIVEの実施

## CJPF AWARD

- ・分野別表彰の設置(案)
- ・AWARD拡大による共創領域の拡大

# APPENDIX





